

札幌市都心のみどりづくり方針（案）に対する意見概要

① 実施の概要

札幌市では、札幌市都心のみどりづくり方針（案）について、広く市民にお知らせし、ご意見を取り入れるために市民意見収集を実施しました。

(ア)募集期間

令和5年（2023年）6月22日（木）～令和5年7月21日（金）まで

(イ)資料配布・閲覧場所

- ・札幌市建設局みどりの推進部みどりの推進課
（札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館6階）
- ・札幌市役所本庁舎2階市政刊行物コーナー、1階ロビーパンフレット台
- ・各区役所
- ・各区土木センター
- ・まちづくりセンター（本府・中央、東北・東、苗穂、豊水、西創成、
大通・西、桑園、鉄西、鉄東）
- ・札幌市公式ホームページ

(ウ)周知方法

札幌市公式ホームページ、広報さっぽろ7月号への掲載

(エ)意見の提出方法

郵送、FAX、電子メール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参

② ご意見の内訳

(ア)意見提出者・意見数

5人・14件

(イ)居住区別内訳

区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	不明	合計
人数	4										1	5
件数	13										1	14

(ウ)提出方法別内訳

提出方法	郵送	FAX	電子メール	HP	持参	合計
提出者数		1	1	3		5
構成比		20%	20%	60%		100%

(エ)項目別内訳

分類	件数
第1章 背景と位置づけ	
第2章 現状把握と課題の整理	
第3章 基本目標と基本方針・取組の方向性	6
第4章 重点エリアと主要事業	1
第5章 推進プログラム	1
第6章 取組の実現に向けて	
参考資料	
全体・その他のご意見	6
合計	14

(注) 方針案と直接の関係がないご意見（他事業へのご意見等）については非公開としています。

③ 意見の概要

市民のみなさまからいただいたご意見は、要約や分割して掲載しております。

意見の概要	
第3章 基本目標と基本方針・取組の方向性	
01 P16	大通公園や札幌駅前のみどりの空間整備と公共駐車場の運営管理を組み合わせたPPP事業の導入を提案する。 駐車場収益の一部をみどりの空間整備の一部に還元することで、民間事業者の積極的な参入促進を図ることができる。
02 P17	助成のないボランティア活動においては、花苗等必要資材を揃えることも資金的に難しい状況にある。 大通公園（バラ花壇）、中島公園、円山公園における植物ボランティア活動にあたっては、大通公園（バラ花壇）以外の公園にも助成金等の幅を広げ、春から秋の間、市民の憩いの場として、出来るだけ花を絶やすことのないように出来ないか。
03 P17	ボランティアにおいては、公園の植栽について学べる機会の創出等、活動継続に繋がるモチベーションが重要。 そのためには、知識があり企画もできる公園管理事務所職員が必要であり、職員の専門知識の習得・人材育成・賃金アップ等の待遇改善が求められる。
04 P17	ボランティアは高齢化等による人材不足が課題となっており、初心者が活動に参入しやすい取組を行い、参加の裾野を広げていく努力必要だと思う。
05 P17	「札幌市都心のみどりづくり方針」においてボランティアに求めるものがわからない。
06 P17	札幌市（公園管理事務所）がボランティアを募集し作業に当たらせる目的とその意義がわからない。
第4章 重点エリアと主要事業	
07 P23 P28 P33	大通は公園機能だけでなく道路通路でもあり、公園同士をあちこち合体させると歩行・交通面で大きな支障がでるため、西9丁目と10丁目、西11丁目と西12丁目をつなげないでほしい。大きな丁目は現状の8・9丁目だけでもう十分ではないか。
第5章 推進プログラム	
08 P36	公園、特に「花」の分野においては人手不足のため、ボランティアに頼っている状況であり、人口減少等により実行部隊が先細りでは取組の推進は難しい。 みどりづくりに携わる様々な人々の働きがあってこそ方針実現に繋がる。
全体・その他ご意見	
09	方針の全体像が大きく、これからの人口減少に対応可能な内容となっているのか把握できない。これらかの社会情勢の変化を踏まえた上で方針の実効性を検証すべき。
10	みどりのある空間の回遊促進を図るため、そこに至るまでのアクセス利便性の向上が必要。公共交通はもとより、駐車場サービスによる利便性向上を図るため、公共・民間駐車場を連携し面的に駐車場を利用しやすくする施策の導入を提案する。
11	高齢者も障がいのある方も札幌市都心のみどりづくりに参加させてほしい。
12	札幌市のみどりが何のためにあるか市民が自覚をもって日々行動をすることが必要なのではないか。
13	避難場所として災害のための都心のまちづくりをすることも必要不可欠ではないか。
14	掲載されている計画の名称が異なる。